

駐在員・自治会長と東郷町議会・議員との懇談会について

1. 開催日時と開催場所について

平成25年8月1日(木) 午前10時から11時52分 全員協議会室で開催した。

2. 出席者について

出席した区長・自治会長・駐在員は次の通りである。(敬称略)

和合区長 磯村守和、傍示本区長 石川儀金、祐福寺区長 近藤三千彦、白土区長 姫野靖典、和合ヶ丘駐在員 伊藤剛史、諸輪住宅自治会長 池田克巳、御岳自治会長 各務徳之、御岳駐在員 松本たかあき、春木台自治会長 鶴田善久、北山台自治会長 野々山守、北山台駐在員 鳥居美津子、押草団地南駐在員 平木幸代、西白土区長 市川稔、部田山自治会長 磯野俊彦、清水自治会長 石川時雄

出席議員した議員は次の通りである。

加藤宏明、川口一夫、若松孝行、水川淳、山田達郎(総務経済委員長)、井俣憲治(副議長)、加藤啓二(議長)、近藤鑛治、石川正、柘植三良、箕浦克巳、門原武志、星野靖江(文教民生委員長)、菱川和英

なお、若園ひでこ議員は身内に不幸があり欠席した。

3. 会議での役割について

井俣憲治副議長が司会を、門原武志議員が書記を務めた。

4. 主な経過について

(1) 議長挨拶

冒頭、加藤啓二議長が議会活性化の取り組みについて説明し、その中で「より開かれた議会、住民とともにある議会を目指す」と議会活性化の目的を説明し、この懇談会もその取り組みのひとつであると述べた。

また、議会についての質問には議長が、個別の政策についての質問には総務経済委員長と文教民生委員長が回答し、これらは議会としての意見と考えてほしいが、個々の議員の発言は私見だと考えてほしいと述べた。

(2) 区長・自治会長・駐在員と議員が自己紹介をした。

(3) 区長・自治会長・駐在員からの意見

① 地区の環境宣言を無視したかたちでの建売住宅への対処が必要だとの

意見

議会として研究する旨、司会の井俣副議長が回答した。

② 町が設置する防災無線を地区でも活用したいとの意見

議会側の対応は、過去の一般質問では当局側から検討する旨の答弁があったので、検討状況を当局に改めて出してもらい、後日、文書で回答するとした。

③ 町の防災無線の設置場所について町の配慮が足りないとの意見

議会として調査し報告する旨、司会の井俣副議長が回答した。

④ 敬老会のお祝いを対象者に渡すために行う住民基本台帳の閲覧について以下のような意見が出された。

- ・見落としが心配、分かりやすくできないか。
- ・地区のためにやっていることだから役場の職員と同じ立場のはず。信用してほしい。
- ・個人情報の出し方は難しいだろう。名簿業者に悪用される心配もある。
- ・閲覧料を払っていた。

議会の側からは次のような意見が出された。

- ・住民基本台帳の閲覧について分かりやすくできないか国に意見書を出せないか。
- ・町条例で住民基本台帳の閲覧について対応できないか研究したい。

⑤ 新池交差点の安全対策工事について

議会の側からは、県も予算をつけているが地権者との合意ができない状況についての説明があった。

⑥ 「より開かれた議会」「住民とともにある議会」について議員たちはどういう努力をしているのか一人ひとり話してほしいとの要望があった。

菱川議員、星野議員、門原議員、箕浦議員、石川議員、加藤啓二議長まで説明したところで、要望を出した区長が「話を聞いていたらいつまでもかかるのでこれぐらいにしておく。区長の中でどれだけの人が議員が近いと考えるか。挙手をお願いする」と話し、6人が挙手した。

⑦ 歩道に不法に車が乗り入れているのに行政が放置していることについて司会の井俣副議長が「行政に伝え、また連絡する」と回答した。

⑧ 犬の散歩のマナーについて次のような意見が出された。

- ・北山台自治会長が文書で要望書を提出した。
- ・マナー向上について回覧した。
- ・糞が放置されている所をチェックしている。猫の糞もある。減らない。糞をした跡に置くと減るといふものがあるので取り組みたいがボランティアがいないと難しい。糞放置禁止の看板は役立ってない。

議会側は検討すると回答。

⑨ 下水道工事の後の復旧工事について司会の井俣副議長が、行政が順番に進めている状況を説明した。

⑩ 他市との合併について具体的には合併の話はないと議長が説明した。

⑪ 防災倉庫に入れる食料について町が補助をしないのかとの意見について司会の井俣副議長が、4月にできた東郷町自主防災組織育成推進要綱（上限5万円）を案内した。

以上